

# MHAMトピックスファンド

追加型投信／国内／株式／インデックス型

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「MHAMトピックスファンド」は、2019年6月10日に第18期の決算を行いました。

当ファンドは、東京証券取引所第一部に上場されている株式に投資を行い、東証株価指数（TOPIX）の動きに連動する投資成果を目指すことを目的とした運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。

ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年6月12日～2019年6月10日

第18期	決算日：2019年6月10日	
第18期末 (2019年6月10日)	基準価額	12,438円
	純資産総額	1,569百万円
第18期	騰落率	△ 11.6%
	分配金合計	200円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

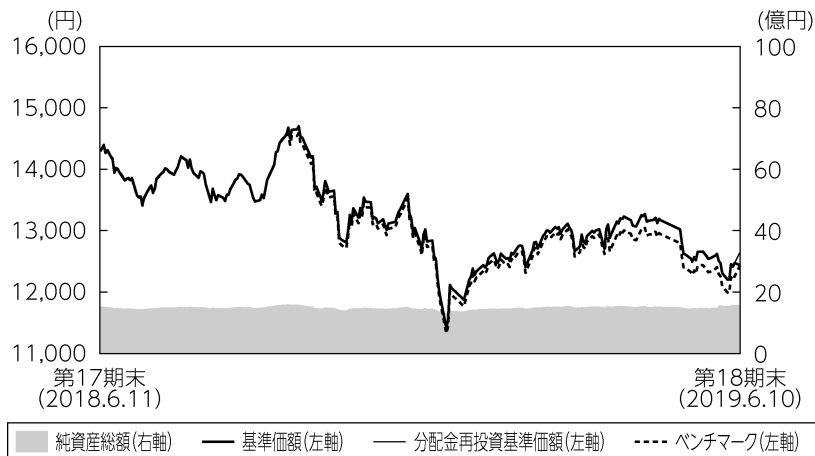
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

**アセットマネジメントOne 株式会社**

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第18期首： 14,292円  
 第18期末： 12,438円  
 (既払分配金200円)  
 騰落率： △ 11.6%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（東証株価指数（TOPIX））は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の<当ファンドのベンチマークについて>をご参照ください。

### 基準価額の主な変動要因

MHAMトピックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、国内株式への投資を行った結果、市況が下落したことなどから、基準価額は下落しました。

## 1万口当たりの費用明細

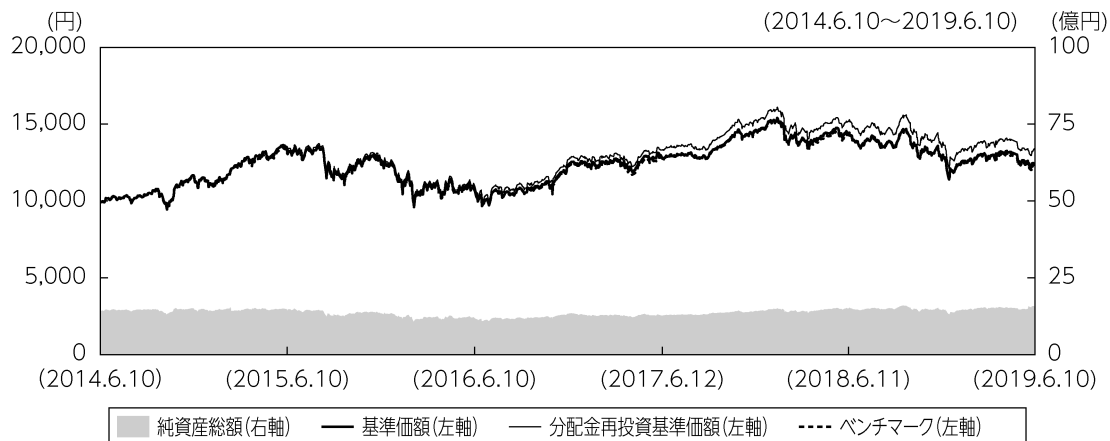
項目	第18期		項目の概要
	(2018年6月12日～ 2019年6月10日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	86円	0.646%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は13,263円です。
(投信会社)	(26)	(0.194)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(50)	(0.377)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(10)	(0.075)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.004	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(0)	(0.002)	売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(新株予約権証券)	(0)	(0.000)	
(先物・オプション)	(0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	－	－	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	0	0.002	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(－)	(－)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合計	87	0.652	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

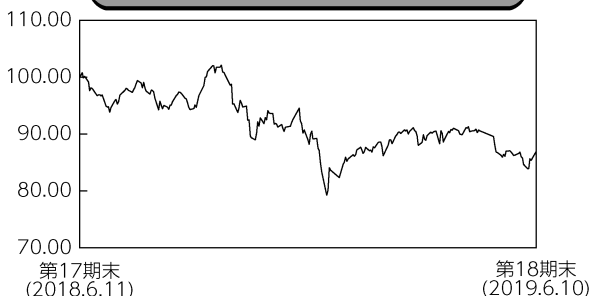
(注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（東証株価指数（TOPIX））は、2014年6月10日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2014年6月10日 期首	2015年6月10日 決算日	2016年6月10日 決算日	2017年6月12日 決算日	2018年6月11日 決算日	2019年6月10日 決算日
基準価額（分配落）	(円)	9,866	13,059	10,682	12,754	14,292	12,438
期間分配金合計（税引前）	(円)	—	190	135	220	240	200
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	34.3	△17.2	21.5	13.9	△11.6
ベンチマークの騰落率	(%)	—	32.5	△18.3	19.6	12.3	△13.1
純資産総額	(百万円)	1,402	1,425	1,181	1,253	1,486	1,569

## 投資環境

### ●国内株式市場

東証株価指数(TOPIX)の推移



(注) 期首の値を100として指数化しています。

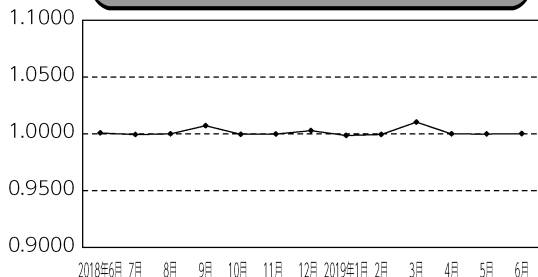
国内株式市場は下落しました。期初から昨年9月にかけては、円安・ドル高の進行や堅調な米国経済指標が好感される一方で、トランプ政権による保護主義的な通商・関税政策への警戒やトルコリラ急落など新興国リスクの顕在化、米国長期金利の上昇などが嫌気され、一進一退の展開が続きました。その後、米中貿易摩擦の激化による世界的な景気減速懸念から企業業績に下方修正懸念が強まったことや、トランプ大統領の政権運営をめぐる不透明感などから、昨年末にかけ大幅下落となりました。年明け1月には、米連邦準備制度理事会 (FRB) から利上げに慎重なスタンスが示され、米国株が堅調に推移したことから、国内株も上昇に転じました。しかし、5月に米国による対中関税引き上げが実施されたこ

とから相場は急落、その後も世界景気の先行き懸念から軟調な展開となりました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

月間連動率の推移



$$\text{月間連動率} = \frac{1 + \text{基準価額月間騰落率}}{1 + \text{ベンチマーク月間騰落率}}$$

(注) 月間連動率の2018年6月は対期首比、2019年6月は期末対2019年5月末比

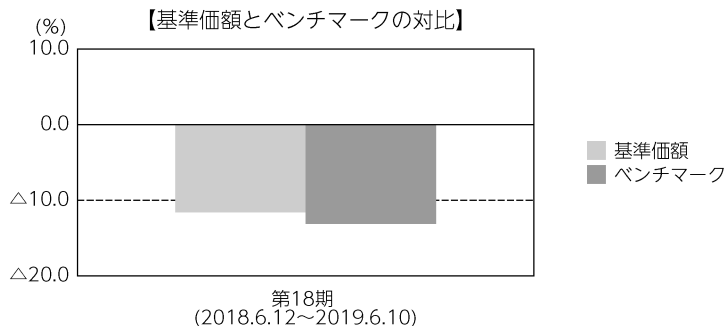
当期の運用につきましては、当ファンドの運用方針に従い、MHAMトピックスマザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持しました。

### ●MHAMトピックスマザーファンド

当期の運用につきましては、当マザーファンドの運用方針に従い、東証株価指数 (TOPIX) の動きに連動した投資成果を目指すため、マルチファクターモデル等を利用した現物株式ポートフォリオによる運用を行いました。また、財務リスクが高まったと判断した銘柄を除外した他、資金の流出入等に対応するため一部、株価指数先物取引を行いました。先物を含む株式の組入比率は期を通じて高位を保ちました。

## ベンチマークとの差異について

MHAMトピックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、国内株式への投資を行った結果、当ファンドの基準価額（分配金再投資ベース）はベンチマークを1.5%程度上回りました。この差異は、主に保有株式の配当金などのプラス要因と信託報酬などのマイナス要因との差によるものです。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

## 分配金

当期の収益分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2018年6月12日 ～2019年6月10日
当期分配金（税引前）	200円
対基準価額比率	1.583%
当期の収益	191円
当期の収益以外	8円
翌期繰越分配対象額	8,297円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

今後の運用につきましても、MHAMトピックスマザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持します。

### ●MHAMトピックスマザーファンド

今後の運用につきましても、株式の組入比率を高位に保ち、東証株価指数（TOPIX）に連動する投資成果を目標として運用を行います。

## お知らせ

■信託財産留保額の徴収を廃止する所要の約款変更を行いました。

なお、上記約款変更により商品としての同一性が失われるものではありません。

(変更年月日：2018年9月11日)

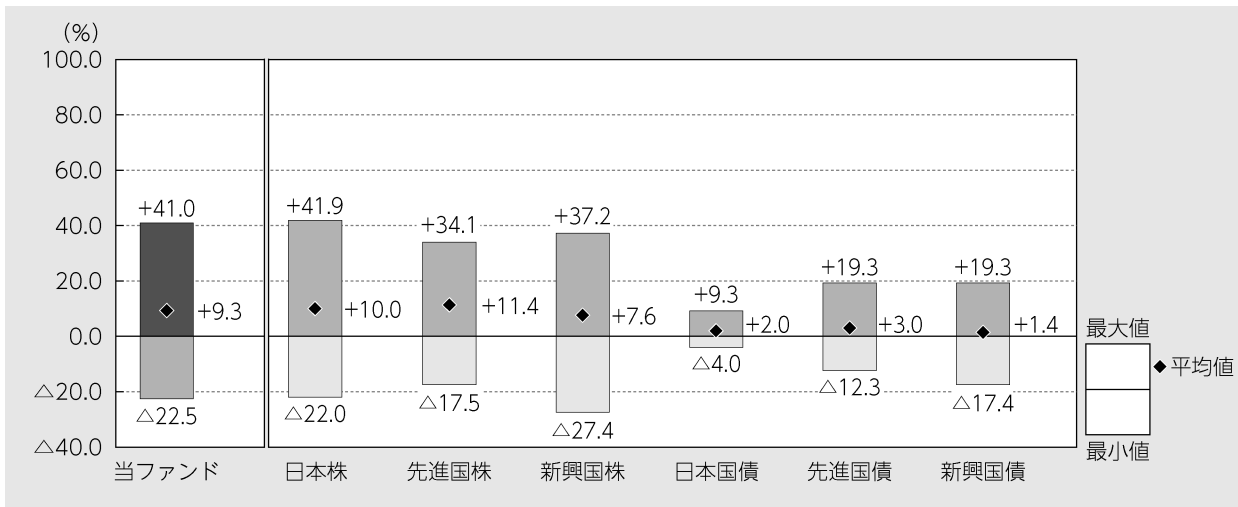
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式／インデックス型	
信託期間	2001年6月29日から無期限です。 なお、クローズド期間はありません。	
運用方針	東京証券取引所第一部に上場されている株式に投資を行い、ベンチマークである東証株価指数（TOPIX）の動きに連動する投資成果を目指します。	
主要投資対象	MHAMトピックスファンド	MHAMトピックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	MHAMトピックスマザーファンド	東京証券取引所第一部に上場されている株式を主要投資対象とします。
運用方法	株式と株価指数先物取引等の合計の組入比率は、原則として高位を保つことを基本とします。 運用の効率化を図るため、ならびに追加設定・一部解約等に対応するため、株価指数先物取引等を利用することがあります。	
分配方針	毎期、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。 収益分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用しています。（ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金をまとめてペビ－ファンドとし、その資金をマザーファンドに投資することにより、その実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。）



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年6月～2019年5月

(注1) 上記のグラフは2014年6月から2019年5月の5年間に於ける1年騰落率（毎月末時点における期間1年間の騰落率を5年（60ヵ月）分取得したデータ）の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。（グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。）なお、上記騰落率は直近の月末から60ヵ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額をもとに計算していますので、基準価額をもとに計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

### \*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2019年6月10日現在）

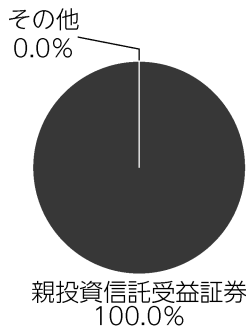
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：1ファンド)

	当期末
	2019年6月10日
MHAMトピックスマザーファンド	100.0%

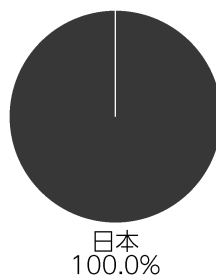
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

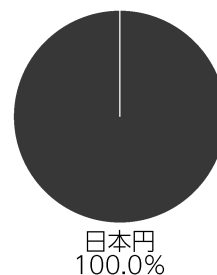
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計（除く現金）に対する割合です。

### 純資産等

項目	当期末
	2019年6月10日
純資産総額	1,569,628,616円
受益権総口数	1,261,976,668口
1万口当たり基準価額	12,438円

(注) 当期中における追加設定元本額は421,909,161円、同解約元本額は199,827,190円です。

## 組入ファンドの概要

[MHAMトピックスマザーファンド] (計算期間 2018年6月12日～2019年6月10日)

### ◆基準価額の推移



### ◆1万口当たりの費用明細

項目	(2018年6月12日～2019年6月10日)	
	金額 (円)	比率 (%)
平均基準価額	17,529	—
(a) 売買委託手数料	1	0.004
(株式)	(0)	(0.002)
(新株予約権証券)	(0)	(0.000)
(先物・オプション)	(0)	(0.002)
合計	1	0.004

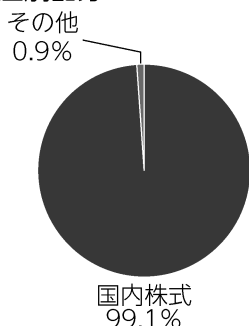
### ◆組入上位銘柄

順位	銘柄	業種	組入比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.2%
2	ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.7
3	ソニー	電気機器	1.5
4	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	1.4
5	日本電信電話	情報・通信業	1.4
6	武田薬品工業	医薬品	1.4
7	キーエンス	電気機器	1.2
8	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.1
9	任天堂	その他製品	1.0
10	リクルートホールディングス	サービス業	1.0
組入銘柄数			1,056銘柄

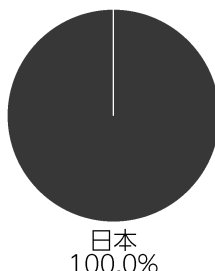
### ◆先物取引

順位	銘柄	限月	売買	比率
1	TOPIX先物	2019年6月	買	5.0%
組入銘柄数			1銘柄	

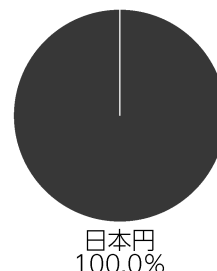
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は当マザーファンドの直近の計算期間末のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は当マザーファンドの直近の決算期のものです。費用の項目の概要については、2頁をご参照ください。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計（除く現金）に対する割合です。

(注4) 資産別配分の国内株式は、先物が含まれています。

(注5) その他は100%と配分比率の合計との差になります。そのため各資産の組入比率の合計が100%を上回る場合には、マイナス表示になることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

## <当ファンドのベンチマークについて>

### ●東証株価指数（TOPIX）

「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXの商標に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。

なお、本商品は、(株)東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、(株)東京証券取引所は、ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

※ベンチマークは配当を除いた指数です。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

●「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。

●「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

●「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。